

M70 FLUSH MOUNT CEILING MIC

OVERVIEW

Audix M70 は、遠距離マイキング用に設計された革新的なフラッシュマウント・コンデンサー・マイクロホンです。

プリアンプを完全に内蔵し、38mV/Pa という極めて高い感度と、直径 3 インチという小さな設置面積が特徴です。

M70 は、遠隔会議、学校、病院、監視、集音などの用途に適しています。

M70 は、フラッシュマウントソリューションを提供し、設置が容易で、音質を犠牲にすることなくマイクロホンを完全に視界から消すことができます。

M70 のカプセルは、特許取得済みのクレードルに収められており、音源に対して最大 45 度の角度でマイクを向けることができます。

M70 は、携帯電話や GSM 機器による RF 干渉から完全に保護されています。

M70 の取り付けは非常に簡単です。51mm の穴を開けるだけで、工具を使わずに簡単に取り付けすることができます。

モデル

M70W 白

付属品

CONN170F - ターミナルブロック付き 30cm マイクケーブル

CONN170M - 対応するターミナルブロック

※機器側のターミナルブロックも付属するため、ソルダーレスで簡単に接続可能です。

JBM70 - 金属製のプレナム規格対応ジャンクションボックス

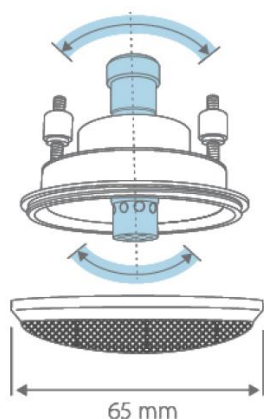


機能

- ・ 高出力で離れたマイキングが可能
- ・ RF 干渉への耐性
- ・ 小型プリアンプ内蔵
- ・ 12mm の金蒸着ダイヤフラム
- ・ プレナム規格ボックスを付属
- ・ 外部電源不要
- ・ ポイント&シュート指向性
- ・ 米国にて設計、組み立て

アプリケーション

- ・ 遠隔会議
- ・ 学校
- ・ 病院
- ・ 監視システム
- ・ 集音

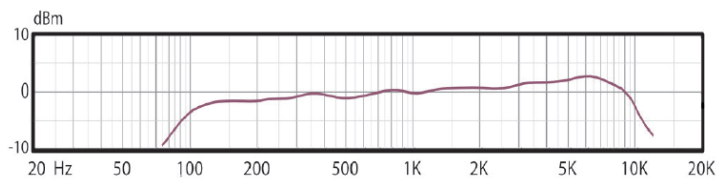


Audix の特許技術である“スイベルマウントシステム”は、マイクをあらゆる方向に回転させることができ、角度をつけることができます。

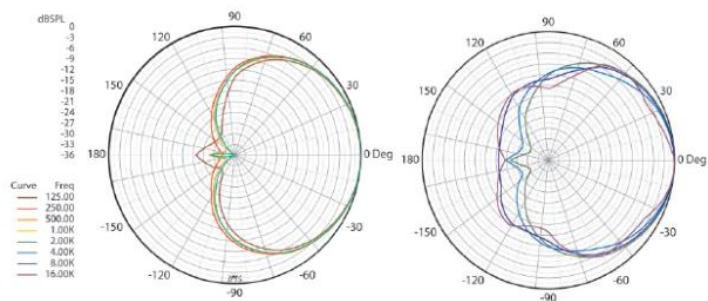
仕様

トランスデューサー	Condenser
周波数特性	60 Hz – 10 kHz
ポラーパターン	Cardioid
出力インピーダンス	150 ohms
感度	38 mV / Pa @ 1k
等価ノイズレベル	22 dB
S/N比	72 dB
最大SPL	≥130 dB
ダイナミックレンジ	108 dB
電源	18 – 52 V phantom
コネクタ	Terminal Block Connector
極性	Positive pressure on diaphragm produces positive voltage on pin 2 relative to pin 3 of output XLR connector
素材/仕上げ	Brass, Aluminum and Steel White or Nickel
推奨ケーブル	Belden 9451 P Belden 82761
長さ	176 mm

周波数特性



ポラーパターン



ARCHITECT AND ENGINEER SPECIFICATIONS

マイクロホンは、カーディオイド極性パターンのコンデンサー型であること。

マイクロホンは RF 干渉から保護されていること。

プリアンプ回路を内蔵し、別途プリアンプが不要であること。

DC18～52V で動作し、公称出力インピーダンスは 1kHz で 150Ω とすること。

マイクロホンの感度は、1kHz で 38mV/Pa であること。

マイクロホンの最大 SPL レベルは 130dB 以上、THD は 0.5% であること。

マイクロホンは、真鍮、アルミニウムからの削り出しで、寸法は直径 65mm、深さ 10mm であること。

マイクロホンは、半径 60 度の範囲で狙いを定めて回転させることができること。

マイクロホンはプレナム規格のジャンクションボックスに収納され、マイクロホンと端子コネクタからの配線を隠して保護すること。

OPERATION AND MAINTENANCE

M70 は低インピーダンスのマイクロホンであり、コンソール、ミキサー、または録音機器のマイクレベル入力に接続して使用してください。M70 はファンタム電源を必要とし、ほとんどのプロ用マイクプリアンプやミキシング機器で利用可能なファンタム電源電圧 (18～52V) を使用して動作します。

お使いの機器でファンタム電源が使用できない場合は、Audix APS2 などの外部ファンタム電源をご利用ください。

マイクロホンを機器に接続する時はチャンネルがミュートされているか、システムのボリュームが下げられていることを確認してください。

これを怠ると、「ポッピング」と呼ばれる大きなノイズが発生し、サウンドシステムのスピーカーやヘッドフォンに深刻なダメージを与える可能性があります。

寸法(mm)

